3班·「DV」・・・これは犯罪です

甲府市は

「甲府市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援計画」 を策定しています。

「DV」は重大な人権侵害、社会全体で取り組むべき問題!「DV」のことを学習し身近な問題として広く発信する。

3班·「DV」・・・これは犯罪です

甲府市は

「甲府市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援計画」 を策定しています。

「DV」は重大な人権侵害、社会全体で取り組むべき問題!「DV」のことを学習し身近な問題として広く発信する。

DVをテーマにワークショップ







第1回「DVの知識・情報を共有し、整理する」

第2回「情報を基に取り組む内容を決める」







学習会 DV被害の実態・女性相談所の役割と被害者支援



山梨県女性相談所 守屋法子 所長



DVについて基本知識と対応についての学習

パネル作成







2回のワークショップと学習会を受けて、DVについての認識を正しく理解してもらうこと、相談窓口の紹介や地域コミュニティーの必要性を周知することが必要なことから「私たちにできる事」としてパネル作成を行いました。

DVとは配偶者等からの暴力です

こんな風に 思っていませんか?

夫婦喧嘩でしょ?

暴力を振るう人は元々乱暴な人でしょ?

される側にも原因があるんじゃない?

家庭の問題に他人が立ち入れないわ



それは違います!!

DVIXILIE

どのような理由があってもDVは絶対に許されません。

身体的暴力

なぐる・ける 物を投げつける



性的強要

行為を強要する 避妊に協力しない

心理的攻擊

暴言·無視 脅す

こどもへの影響 被害者への影響

あざ・けが 不安・うつ など

おびえ・ストレス 成長への悪影響 など

母子関係への影響

絆が弱まる など

経済的圧迫 生活費を渡さない 仕事を制限する

被害者

被害者はナゼ 逃げないのか?

被害者は相手の行為が「暴力」で自身は「被害者」であるという自覚が持てなくなる

成何小四頭

感情や暴力が爆発する



介与介与期

イライラしたり不機 嫌になる



与73号73期

謝罪したり 別人のように優し くなる

別れられない理由

- ◆ 子どもがいる(妊娠した)から
- 経済的不安があったから
- ◆ 世間体が悪いから
- ◆ 相手が変わってくれるかもしれないと思ったから
- ◆ 相手には自分が必要だと思ったからなど

加害者

ET.

気持ちの押しつけ、思い通りにしたい

加害者の心理

理当低

自分を理解できない相手が悪い

- ▶ 怒りをぶつける=暴言・暴力
- ▶ 許可していない行動・態度を許さない=監視・ 行動制限
- ➤ 究極の支配=殺人

加害者の心理が強くなる背景

- ✓ スマホやSNS→返信がないと不安や怒り
- ✓ 家庭内のこと→周囲に気付かれない
- ✓ 勘違いの恋愛観→支配·束縛は愛情



Renseh !

気になることが あったら もし身近に 悩んでいる人がいたら



名称	電話番号	場所・相談時間等
甲府市女性総 合相談室	055-223- 1255	【電話相談】【面接相談】(祝祭日を除く) 月~木 9:00~16:00 金 9:00~19:00
女性相談所	055-254- 8635	【電話相談】平日 9:00~20:00 【面接相談】平日 9:00~17:00
男女共同参画 推進センター ぴゅあ総合	055-237- 7830	【電話相談】 9:00~17:00 【面接相談】 9:00~16:00 (第2・第4月曜日を除く)
山梨県警察 総合相談室	055-233- 9110	24時間受付 (土日、祝日、夜間は警察署の日(宿)直警察官 が対応)

- ゆっくり話を聞いてあげましょう
- ・ 相談窓口を紹介しましょう
- ・ 時には勇気をもって通報しましょう



パープルリボン

女性への暴力の根絶を訴えるアウェアネスリボン。パープルリボン運動は1994年にアメリカ合衆国ニューハンプシャー州のベルリンで始まり、日本ではNPO法人全国女性シェルターネットがより、活動を展開しています。



女性に対する暴力の根絶の ための

シンボルマーク

DVの問題に対する社会における認識をさらに深めてもらうためのシンボルマークで、女性が腕をクロスさせた姿をモチーフにし、女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意志を表しています。

3班・メンバー

リーダー 五味明美

サブリーダー 藤原一三

メンバー 今村ヒロ子

メンバー 小澤房子

メンバー 菊嶋慶彦

メンバー神宮寺ヒロミ

メンバー 髙橋俊德

メンバー 田中克枝

メンバー 森 みどり

